JJRUのAI活用方針とAIを活用する皆様へのガイドライン

最終更新日：2026年8月17日

序文：AIと一緒に、ジャンプロープの未来をワクワクするものに！

近年、生成AIをはじめとする人工知能（AI）技術の進化には目覚ましいものがあります。スポーツの世界でも、記録を自動で計測したり、かっこいい動画を作ったり、大会のスケジュールをスムーズに組んだりと、様々な場面でAIが活躍し始めています。

一般財団法人日本ジャンプロープ連合（JJRU）は、これらの新しい技術をポジティブに受け入れ、みんなで楽しく活用しながら、ジャンプロープ競技をさらに盛り上げ、誰もが公平に楽しめる環境を一緒に育てていきたいと考えています。

一方で、AIを使うときには、お互いのプライバシーを守ることや、著作権、スポーツマンシップなど、みんなが気持ちよく活動するための「思いやり」も大切になります。選手、指導者、審判員、そしてジャンプロープを愛するすべての人が、安心してAIの恩恵を受けられるよう、私たちの「共通の道しるべ」としてこのガイドラインをまとめました。

【JJRUのAI活用方針】

JJRUは2026年より、AI技術の取入れ・対応およびジャンプロープへの活用を目的に「AI技術委員会」を立ち上げて活動を開始いたしました。
このAI技術委員会は、現代スポーツのAIを活用したさまざまな取り組みに対応するとともに、研究開発等も進め、ジャンプロープ・スポーツの技術や競技会の発展につなげていきます。

担当役員：森口明利　AI実務担当者：今井港

【JJRUのAI活用ガイドライン】

1. 大会運営における**AI**技術の活用

組合せ抽選やスケジュール作成などにAIを上手に取り入れ、事務作業のミスを減らして、スピーディーで正確な大会運営を目指します。

2. 競技会の採点のサポート

現代のスポーツ競技では、審判員の誤判定を訂正する目的でAIやデジタル技術の導入が当たり前になっています。JJRUも、競技会でのAIやデジタル技術の導入を積極的に進めていきます。
スピード競技のカウントや、フリースタイルの分析などにAI技術を活用し、より正確な判定を可能にしていきます。また、AI技術を導入した判定の扱いには、別途ルールを定め、公平性やスムーズな競技会運営を担保する仕組みを構築し、運営します。
AI技術導入後は、AIの計算と採点競技の審判員の目視に差がある場合等、競技会ルールに従って確認し、最終的なスコアを確定させる等、ルール改正を実施します。

3. 選手・コーチ等からの競技会での採点への質問や確認

AIを使った採点システムを導入した競技会・種目は、事前（開催前）にシステムの説明とルールの案内を文書または口頭で実施します。また、競技会でAIを活用した採点について、選手等から質問や確認の要望があった場合は、競技会ルールに従い、できる限り丁寧に説明し、最終判断を公開します。

4. 法令を遵守した**AI**技術の活用

AIを使って作成する画像・映像等については、公開前に確認・点検作業を実施し、著作権の侵害などが発生しないようにします。

5. AI活用の共有

都道府県支部や関係者の皆様がAI技術を活用して、円滑に活動が行えるように情報提供や問い合わせ対応等を行い、みんなで一緒に躍進できるよう努めます。

【選手・コーチ・関係者等のAI活用ガイドライン】

6. マナー遵守と安心・安全なAI活用

AI技術はとても便利な反面、使い方や情報の扱い方を誤るとトラブルの原因となってしまうことがあります。次の「マナーと安心のポイント」を頭に置いて、安全に使いこなしましょう。

- 自分のデータは自分で守る

  自分の練習動画をAIアプリにアップロードするときは、「この動画はどう扱われるのかな？」とアプリの約束事を少し確認する癖をつけ、大切なデータを自分で管理しましょう。

- 仲間のプライバシーも大切に

  チームメイトや他の選手が映っている動画を撮影・解析したり、それをSNS等で公開したりする場合は、必ず「使ってもいい？」とお互いに確認し合いましょう。隠し撮りや許可なしの撮影や公開は、トラブルの原因になるので止めましょう。

- 公開する前には必ずチェックを

  AI技術では画像や映像の制作が簡単に行えます。ですが、AIまかせにすると、模倣や著作権侵害等になっている場合もあります。SNS等で公開する前には必ずチェックをして、慎重に正しく活用しましょう。

- オリジナリティとリスペクト

  AIを使ってパフォーマンスの構成案を作るのは素晴らしいアイデアです。ただし、他の選手が一生懸命考えた技や構成をAIで丸ごとコピーして、あたかも「自分が全部作った」と発表することは、お互いの良心（スポーツマンシップ）に照らし合わせて自制しましょう。

- 自分の体の声を一番に

  練習プログラムなどにAIを活用することもできます。しかし、AIは「もっと練習できるよ！」と言うかもしれませんが、あなたの筋肉の疲れや関節の小さな痛みをすべて知っているわけではありません。AIの数値を過信せず、自分の体調を最優先に、怪我のない楽しい練習を心がけてください。

- ジュニア選手の見守り

  ジュニア選手の動画やデータをAI解析に活用する場合は、保護者の方にその目的を丁寧にお伝えし、安心して同意をいただけるプロセスを大切にしましょう。

7. コーチングや参考情報の収集

AI技術は一人ひとりに寄り添った指導や情報収集を可能にしてくれます。
自分に合った「一番輝ける跳び方」や「適切な練習方法」を探したり、個人個人に寄り添ったデータ収集に利用したりして、技術向上や指導に活用してみましょう。

【その他】

8. AI活用は自己責任

JJRUは、AIを活用した練習や情報発信・収集に伴うトラブルについて、一切責任を負いません。

9. ガイドラインの更新について

AIやデジタル技術は日進月歩です。本ガイドラインも、適宜更新を行います。

JJRU AI技術委員会